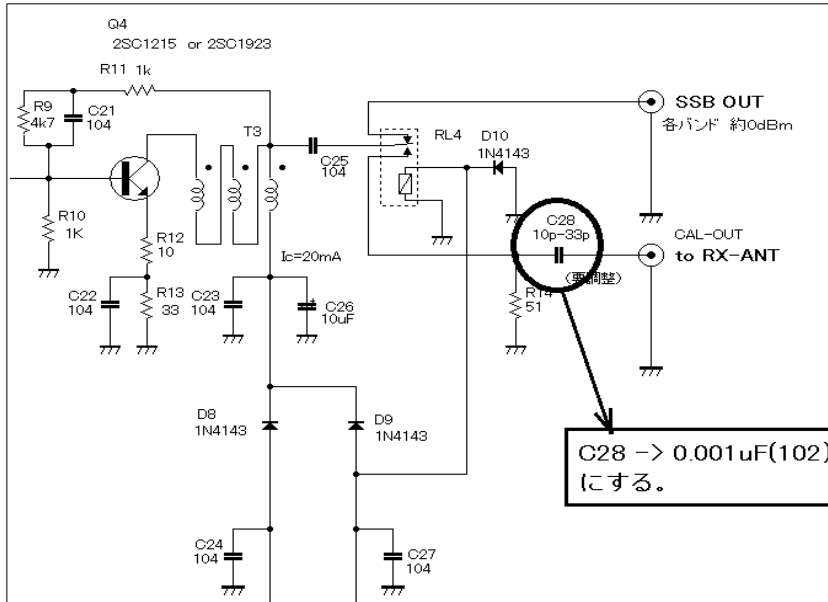


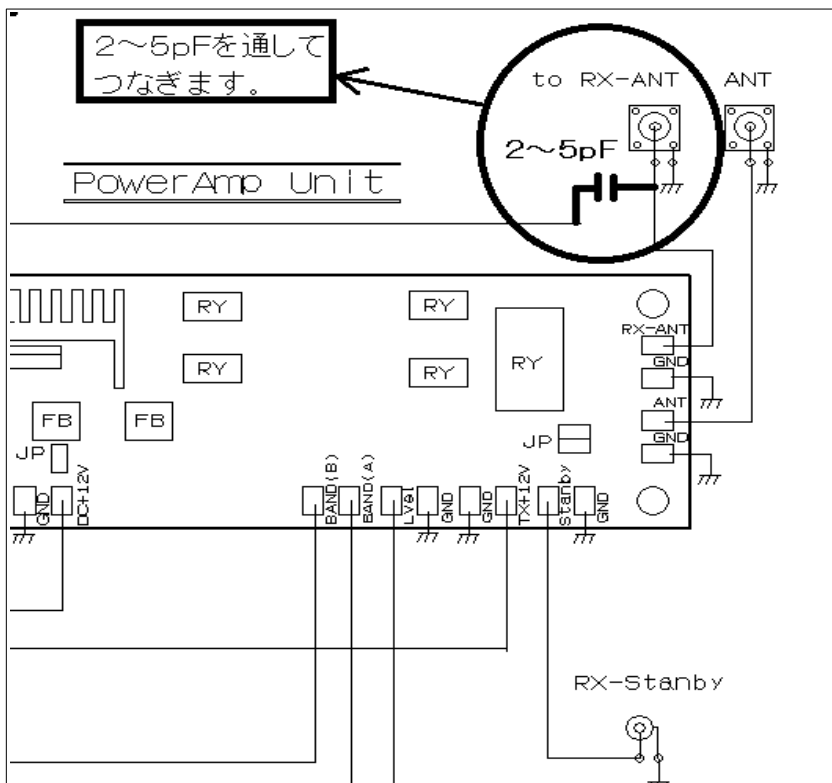
dsPSN送信機 「Orion 406」 キャリブレーション回路の説明 CYTEC

1) MIX&VFO ユニット



MIX&VFOユニット内の、C28を、102(0.001uF)にします。

2) 受信機アンテナ・コネクター部への接続



図の様に、2~5pFを通してMIX&VFOユニットの、CAL-OUT端子からの、リード線を受信機アンテナコネクターへ、直接つなぎます。

強い局を受信した場合でも、CAL時自分の声が、受信機から聞こえるように、2-5pFの値を、調整します。

注:キャリブレーション時、自分の声で、相手局とゼロインを取ります。そのため、マイクは常時働く状態になっている必要があります。特にコンデンサ-マイクを使用する際は、電源に注意してください。